

全国水生生物調査の概要

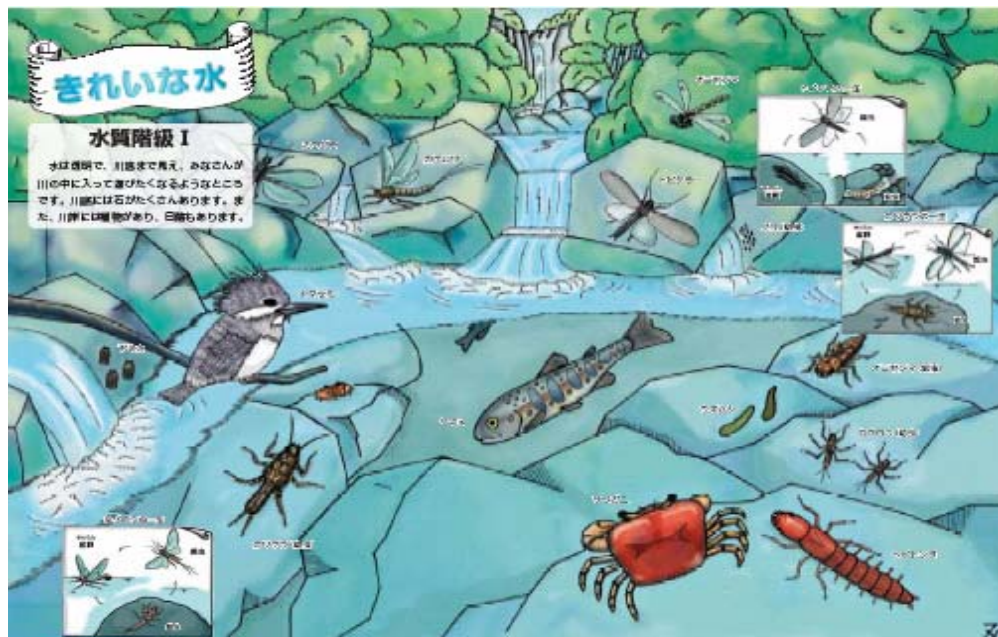
【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます。特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、30種を指標生物としています。
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(少しきたない水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(大変きたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。

水質階級と指標生物



きれいな水 (Ⅰ) の指標生物		少しきたない水 (Ⅱ) の指標生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドロムシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
きたない水 (Ⅲ) の指標生物		大変きたない水 (Ⅳ) の指標生物	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコツブムシ			

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

平成19年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

平成19年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等562団体、18,417人の多数の参加を頂き、662箇所の調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、福島県、三重県等でした。



水質階級	記号
I (きれいな水)	●
II (少しきたない水)	●
III (きたない水)	●
IV (大変きたない水)	●

